

## 東海地震に対する緊急時の対応について

東海地震に関する情報の強さには緊急度によって、3段階のレベルがあります。通常とは異なる変化が観測された場合は「調査情報」、東海地震の前兆現象である可能性が高い場合は「注意情報」、警戒宣言の発せられる場合は「予知情報」といいます。

### 1 「調査情報」が発表された場合

平常通り授業を行います。学校はテレビ・ラジオの最新の情報に注意します。

### 2 「注意情報」又は「予知情報」が発表された場合

#### (1) 在校中

- ①直ちに授業をはじめとする教育活動を全て打ち切り、「情報」の内容を伝えます。
- ②下校方法の安全確認をした上で、指示（校内放送・HR指導・全校集会等）により帰宅させます。安全の確認ができない場合は学校に留めます。
- ③翌日以降は授業再開の目途が立つまで、自宅待機とします。

#### (2) 在宅中

自宅待機とします。避難対象地区内に居住する場合は、「警戒宣言」が発令され次第、避難場所へ避難できるよう準備してください。

#### (3) 登下校途中

原則として、「注意情報」又は「予知情報」の発表を知った時点ですみやかに帰宅します。やむを得ず登校した場合は、安全確認後にすみやかに帰宅します。

### 3 「注意情報」「予知情報」が解除された場合（在宅時）

#### (1) 地震が発生した場合

- ①伝言ダイヤルで授業再開日時の確認をしてください。
- ②愛知県教育委員会からラジオなどを通して指示があった場合は、それに従ってください。
- ③地域的に危険がある場合は、危険がなくなるまで自宅に待機してください。

#### (2) 地震が発生しなかった場合

原則として解除された翌日より平常授業を行います。

### 4 「予知情報」にて警戒宣言が発令された場合

警戒宣言は、2～3日（又は数時間）以内に大地震が発生することが予想されるという警告です。生徒は自宅待機し、特に避難対象地区内に居住する生徒は、自治体の勧告に従い、避難場所へ避難します。

### 5 警戒宣言発令後に「予知情報」が解除された場合

「予知情報の解除」が発せられ、東海地震の発生のおそれなくなった場合は、原則として発表の翌日より平常授業を行います。

### 6 大規模地震が発生した場合

ここでいう大規模地震とは、愛知県西部において震度5強以上の地震が発生し、周辺地域に家屋の倒壊・火災・交通機関の途絶などが予想される場合、又は県内に震度6以上の地震が観測され、県が第3非常配備態勢を発令した場合のことでです。

#### (1) 在校中

生徒は学校の指示に従い避難行動に入ります。その後、交通手段の安全を確認して帰宅させます。利用交通機関の状況次第では、学校に留め置きます。

## (2)在宅中

- ①伝言ダイヤルで授業再開日時の確認をしてください。
- ②愛知県教育委員会からラジオなどを通して指示があった場合は、それに従ってください。
- ③地域的に危険がある場合は、危険がなくなるまで自宅に待機してください。

## (3)登下校途中

徒歩・自転車通学の生徒は、速やかに最寄りの避難所へ避難します。公共交通機関利用の生徒は、車内放送等による乗務員の指示に従って行動し、最寄りの避難場所に避難します。

## (4)学校との連絡について

- ①伝言ダイヤルで授業再開日時の確認をしてください。
- ②愛知県教育委員会からラジオなどを通して指示があった場合は、それに従ってください。
- ③地域的に危険がある場合は、危険がなくなるまで自宅に待機してください。

## 7 避難場所の確認について

警戒宣言が発令された場合又は大規模地震が発生した場合に備えて、自宅周辺・通学途中の避難場所を確認して、家族での打ち合わせをしておいてください。

### 災害用伝言ダイヤル利用方法

災害用伝言ダイヤルとは、大規模な災害が発生した場合に運用されるシステムで、家族に安否・居場所などを知らせる会話を30秒以内で録音・保存できる声の伝言板です。

- ◎ 「171」へ電話をかけ、音声案内に従って市外局番からはじまる自宅の電話番号などをダイヤルして伝言を吹き込みます。録音された電話を聴く場合も同様に「171」に電話をかけ、案内に従ってダイヤルすれば全国どこからでも聞き取れます。
- ◎ 伝言の保存期間は2日間です。録音・保存できる伝言は、被災の範囲や被害の大きさによって設定されますが、最大10件となります。
- ◎ 伝言の録音・再生とも通話料だけが必要です。携帯・公衆電話からも利用できます。ただし、平常時は運用していません。

#### ①安否・被害状況についての学校への連絡方法

次の手順に従います。

『171』⇒『1』⇒自宅の電話番号『(\*\*\*\*) \*\*-\*\*\*\*』⇒『録音』  
(携帯電話の番号は利用できません)

録音内容の例

「1年1組 木曾川太郎です。自分も家族も無事ですが、自宅は全壊し、今は\*\*\*小学校に避難しています。」

#### ②学校の再開について確認する場合

『171』⇒『2』⇒『0586-62-6155』⇒『再生』

連絡内容の例

「木曾川高校です。学校の再開については現在検討中です。学校から連絡があるまで自宅で待機しててください。」

家族で災害用伝言ダイヤルについて話し合い、被災した場合に利用することを確認しておいてください。